

第4回松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会 会議概要録

開催日時：平成28年2月8日（月）

午後2時～午後3時30分

場 所：KH三番町プレイス3階第1会議室

午後2時 開会

《挨拶》

【梅岡副市長】

- ・現在、人口の急激な減少と高齢化が進む中で、地域の活性化が強く求められている。
- ・本市では、“一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市まつやま”の実現に向けて、松山駅周辺地区を県都の陸の玄関口にふさわしい新たな交流と賑わいを生む魅力ある都市空間として整備することを重要な課題として取り組んでいる。特に、本市が取得予定の車両基地跡地については、『まつやま情報文化交流拠点』として整備することを目指した基本構想を公表したところであり、駅周辺のまちづくりを先導することを期待している。
- ・関係者間において、駅周辺のまちの賑わい創出、良好な都市景観の形成、環境の向上に向けて共通して取り組むべきルールをまちづくりガイドライン案として、事務局から提示させていただく。
- ・今後、十分検討を重ね策定を行ったガイドラインをもとに、関係者一丸となって、魅力ある一体的なまちづくりを目指していきたいと考えているので、忌憚のないご意見をいただきたい。

《委員の紹介》

- ・別紙名簿参照

《議題1. 会長及び副会長の選任について》

- ・曲田委員を会長、吉井委員を副会長として選任

【曲田会長挨拶】

- ・この松山駅周辺のまちづくりにおいては、社会環境が変わる中でまた違った観点が求められる。皆さんのご協力をいただきながら進めたい。

【吉井副会長挨拶】

- ・笑顔あふれるまちづくりというネーミングに感心している。松山駅を松山市の顔として更に良くして、発展できるよう頑張っていきたい。

《議題 2. 松山駅周辺整備事業の進捗状況について》

【事務局説明】

- ・愛媛県による JR 松山駅付近連続立体交差事業と松山市による松山駅周辺土地地区画整理事業について、進捗状況を説明
- ・松山駅周辺のまちづくりの取り組みとして、車両基地跡地利用に関する基本構想の策定や昨年開催したシンポジウム、作画コンクール、愛媛大学学生祭へのブース出展などを説明

《議題 3. まちづくりガイドラインの検討について》

【事務局説明】

- ・上位、関連計画に基づいて、広域的・総合的・長期的な視点に立って松山駅周辺地区のまちづくり方策をまとめたシナリオと、そのシナリオに沿った拠点地区での良好な都市景観や環境の向上、まちの賑わい創出に向けた具体的な取り組みを示したガイドライン案を説明
- ・シナリオでは、『集客』、『集住』、『回遊』、『環境』、『防災』、『協働』の6つの基本目標とそれに対応する整備方針、方策を掲げており、ガイドラインは、さらにその方策に対応した具体的な取り組み事項を掲げている。
- ・今後の進め方として、推進協議会で、平成28年度中ごろを目標に承諾を得た後、ガイドラインの適用区域を広げていく。また、長期的には、ガイドラインの次のステップとして協定の締結やまちづくり組織の設立を視野にいたした検討を行うことを説明

【A 委員】

- ・施工予定時期について、貨物駅や操車場の移転は予定通り進行しているのか。JR 松山駅についても高架下に商業利用のイメージ図が示されているが、このような形になっていくと理解していいのか。

【事務局】

- ・新車両基地と貨物駅の移転は、平成27年度を目標として進めていたが、新基地の予定地で想定外の多くの埋蔵文化財が発見されたり、軟弱地盤対策の追加等もあり、去年4月に約4年遅らせて平成31年度中の完成を目指す旨が県より公表された。事業全体は、各主体と調整の上、これまでどおり平成32年度を目標としたい。

【四国旅客鉄道株】

- ・JR 松山駅については、平成31年度に車両基地を移転してから駅舎を整備することになる。線路の線形はほぼ決まっており、4線のホーム2つからなる駅という事項は確定している。現段階では白紙に近いが、駅前に私どもの用地も少しあることか

ら新しい賑わいづくりという点で商業施設を作っていきたいと考えている。

【松山商工会議所】

- ・平成32年度に工事が終わる一方でJRの駅舎がまだ白紙という説明であったが、拠点地区の中の市有地や県有地等で具体的にいつまでに何をやるのか決まっていることはあるのか。

【事務局】

- ・拠点地区の中でJR四国から取得する市の車両基地跡地については、昨年5月に基本構想を公表し、情報文化交流拠点とする旨を公表している。愛媛県でも現在検討を進めていると聞いている。何を作るという点では、市の基本構想公表が先導的な位置づけであると考ええる。

【松山商工会議所】

- ・拠点地区内の建築物、インフラが完成するのはいつ頃という見通しはあるのか。

【事務局】

- ・土地区画整理事業や鉄道高架事業により、土地が整備されてから建築物の建設が始まる。拠点地区の大部分は第3期の施工予定であり、おおよそ平成31年度から32年度にかけて土地を整備し、施設はそれ以降になる。

【B委員】

- ・ガイドラインとしての構想は良くできていると思うが、オフィス街にしたいようなイメージを持ってしまう。松山の良さや個性をどのように出すか疑問を感じる。今の良さを残しつつ、松山の良さを出していくことが大事である。
- ・ホームや店舗入り口に屋根がなければ、雨に影響されて客も逃げってしまう場合もある。他所から来ても歩いて楽しい空間、例えば屋根やオープンカフェ、緑を溢れるようにするのは賛成である。どう個性を出していくのか提案を出してほしい。
- ・駅ビルや商業施設については、夜10時で消灯してしまうと治安の不安がある。女性でもファミリーでもお年寄りでもみなさんが安心して過ごせるような、明るい駅を目指してもらいたい。夜でもLEDや路面の間接照明、防犯カメラ等、防犯・治安的な観点から具体的に案を出してもらいたい。

【事務局】

- ・松山の個性という観点では、デザインの工夫やことばのちからの発信など、例として載せている。また、松山らしさの演出として、眺めやまちの色合いで工夫できるのではないかと。ガイドライン案は、地権者の方々と共通して取り組む姿勢や内容に

ついて何をすべきかと考えまとめるものであり、個別具体的な取り決めについては、まちづくりの組織を新しく立ちあげて、協定等で進めていくものと考えている。今後、個別具体の協議をしながら進めたい。

【C 委員】

- ・交通広場やバスターミナルが整備されるが、西口のバスの運行についてはどのように考えているのか。

【事務局】

- ・周辺整備事業として決定しているのは、東口広場の拡張と西口広場の新設及び路面電車の東口広場への引き込みである。バス等については、今後事業者等と協議することとしており、現時点では未定である。

【曲田会長】

- ・ガイドラインでは、基本目標を6つ掲げているが、きちんとポイントが抑えられていると考えている。

【吉井副会長】

- ・全体的に景観に重心が寄っている印象を受ける。景観も大事であるが、ソフト施策も充実していただきたい。例えば、松山らしさの演出においても、ソフト施策が重要である。松山の人がそこにたくさん集まれば自然と松山らしくなる。賑わいづくりには集住が非常に大事である。高層住宅を誘致する等、この地域に住む年齢別人口の目標を具体的に示すと、それに向けた取り組みが明確になってくる。

【B 委員】

- ・どのような層かという目標は大事である。高齢者、ファミリー、学生だけでもいけない。ちょっと寄りたい、見たいと思わせるような仕掛けづくりが必要であるが、きっちりと方向性を定めないと結果的に利用しにくい状況になってしまう。

【C 委員】

- ・回遊の中に駐車場の適正配置とある。この区域内にどの程度の駐車場を設けるのか、施設量や配置の考え方はあるのか。

【事務局】

- ・現状では、駐車場台数は満足されている。今後の土地利用や計画される施設によって必要台数が算定されるため、この推進協議会で情報交換しながら検討していきたい。駐車場の配置においては、歩行者動線を邪魔しない等をガイドラインに位置づけている。

【B 委員】

- ・駅前広場内に自家用車の降車場も設けられるのか。週末になると、駅前は相当混雑しており、駐停車禁止の場所で送り迎えしているのが現状である。
- ・歩行者空間、自転車空間も分けていただきたい。初めて来る人や外国人のことも考えなければならない。

【事務局】

- ・駅前広場のレイアウトについては、現在関係機関と協議中である。
- ・ガイドラインに示したイメージは検討段階の一案であり、決定した内容ではない。

【C 委員】

- ・土地区画整理事業で造成工事も行われているが、市と工事業者で連携をとっていただき、周辺の方々の日常生活に支障が出ないようにお願いしたい。

【事務局】

- ・関係者間で連携は図っているが、何かあればいつでも連絡していただきたい。

【曲田会長】

- ・集客、集住、回遊、環境、防災、協働のそれぞれの目標について整備方針や方策を掲げ、それに応じた内容がガイドラインに記載されている。これを基本に次のステップに進みたいということである。今後細部を詰めながら、松山らしさをつくっていく。どのような商業施設や生活施設の整備を進めるか、また文化交流拠点を作ることによるインパクト等も念頭に置きながらこのガイドラインで進み始めたいという提案である。これを認めていただきたい。

[質問・意見なし]

【曲田会長】

- ・まちづくりガイドラインの方向性については、この場で承認した。今後、この内容を具体化する際にはフレキシブルに取り扱いながら進めることとする。

【事務局】

- ・本日の審議内容に基づいて必要な箇所は修正をしたい。

《議題 4. その他》

【事務局説明】

- ・平成 28 年度の松山駅周辺のまちづくりの進め方は、ガイドラインのさらなる検討、駅前広場の検討、地区計画・景観計画、土地利用のあり方等について地元勉強会を

開催することを説明。

午後3時30分 閉会